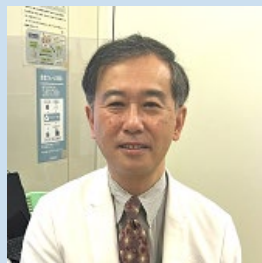


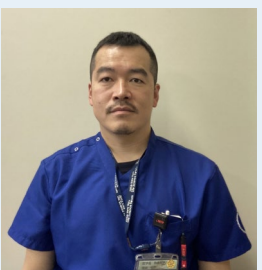
# 特定行為研修指導医師からのコメント

## 担当医師からのコメント



### 共通科目：臨床推論・医療面接担当 太田光泰医師

臨床推論は狭義には診断推論を意味します。具体的には、患者さんの受療動機を理解し、健康問題を生物、心理、社会の3方向から診断のうえ、適切な治療、マネジメントにつなげる一連の思考過程のことです。それゆえに考える力を養うことに重点をおいています。本セクションの最後には医療面接と身体診察の厳しい試験を施しており、再試も複数回行っています。近い将来、優れた洞察力、判断力で私たち医師の強力なバディになっていただけることを心より期待しています。



### 共通科目：フィジカルアセスメント担当 小川史洋医師

特定行為看護研修で救急外来における初期診療とその対応についてのフィジカルアセスメントを行っています。生理学的異常に対する蘇生行為を学ぶことによって患者の病態の安定化を図り、その後の診療につなげます。講義内容は、机上の講義を行った後、実臨床に即したシミュレーションを行うことにより、その病態・対応を体得します。研修中の講義だけでなく、研修修了後のフォローアップセミナーも定期的に行い、技能の維持に努めています。



### 区分別科目：腹部ドレーン管理関連担当 秋山浩利医師

腹部ドレーン管理は外科領域では周術期管理として大切な医行為の一つです。受講生はこの重要性を理解し積極的に学んでいるので、実務研修においても学習効果が発揮できています。今後は研修修了した皆さんと一緒に術後の病棟管理を行えることを期待しています。



### 区分別科目：呼吸器関連・循環動態に係る薬剤投与関連他担当 高木俊介医師

#### 「あなたのキャリアデザインを一緒に考えましょう」

本学の特定行為研修は、講義はもとより2つの病院での実習に力を入れており、多くの症例を通して気道確保・人工呼吸療法等の現場での実践に必要な知識・技術を習得することができます。また、多くの仲間とともに学びキャリアを積むことであなた自身の将来像および看護職の発展に必ず役立ちます。私達講師陣は皆様のチャレンジを全力で応援すべく講義および実習を用意してお待ちしています。